



ふゆの  
びっくりマーケット

さく ゆきの みおか



シマフクロウさんが もりの おくで  
おみせを ひらきました。  
「いらっしゃいませ! どの びっくりに しましょう?」

いちばんはじめの  
おきゃくさまは エゾリスさんでした。  
「おいしそう！  
いただきますーす！」



わったへ〜くい  
くるみ!



エゾリスさんは  
じぶんの おどろきかたが  
おかしくて  
わらいながら  
かえってゆきました。  
「とけたら おいしくいた  
だくわ!」





つぎにやってきたのは エゾシカさん。  
「どのびっくりも しんせんですよ。」  
「なにかな、なにかな？」

あっま〜いいキャベッツ!



ゆきのしたでじゅくせいしたやさいは  
いつもよりずっとあまいようです。



エゾユキウサギさんも やってきました。  
「これは なにかしら？」

# まっかた オンコの み!



まっしろだった  
エゾユキウサギさんは  
オンコのみで  
みずたまもようを  
つくりました。  
とっても おにあい!



おつぎは ヒグマさん。  
さいごの びっくりを てにとりました。  
「ん？ なんのちずだろう？」  
しるしの ばしょへ いてみると・・・



# おっきい つらら!

「こんなのみたことない!  
シャーベットが作りほうだいだ!  
さむいひにたべる アイスはおいしいからね!」

ヒグマさんは  
はりきって  
シャーベットを  
つくりました。





びっくりマーケットも これにて みせじまい。  
「ことしも みんなによろこんでもらえてよかった。」  
シマフクロウさんは まんぞくそうにおかたづけ。  
「ん？」



あー！ 3、きのとう！

「はるが すぐそこまで きているね！  
びっくり ほっこり。また らいねん。」

おしまい



はる

ふゆの

びっくりマーケット